

京都駅南口駅前広場におけるショットガン方式の導入及び運用実験について

京都市では、京都駅南口駅前広場について、国際観光都市・京都の玄関口として、平成23年に、公共交通機関の乗継ぎや使いやすさを向上させるための整備計画を策定し、駅前広場の整備に取り組んでいます。

この度、スペースが限られた駅前広場において、運用方法の工夫などスペースを有効活用することにより、駅利用者等の利便性が向上するよう、駅乗り場から離れた場所に待機場を設け、乗車時間までの時間調整や駅乗り場への流入を調整する「ショットガン方式」をタクシーと観光バスにおいて、併せて導入します。

また、システムの構築に向け、運用実験を実施し、効果や課題を検証しますので、お知らせします。

記

1 ショットガン方式の導入

(1) ショットガン方式の導入について

京都駅南口駅前広場整備後の管理・運用方法について、学識経験者、地元学区自治会代表、交通事業者、関係機関等で構成する京都駅南口駅前広場エリアマネジメント会議において、検討を進めた結果、タクシーと観光バスの運用方法として、ショットガン方式の導入を決定しました。

観光バス乗降場入口
付近でバスが混雑



広場入口付近で実車と
空車のタクシーが輻輳



ショットガンシステム構築フロー

京都駅南口駅前広場エリアマネジメント会議において，ショットガン方式の基本運用方法について検討し，バス・タクシー業界等と調整



ショットガン方式の課題を確認し運用システムに反映するため，実際の道路と南口を使い，マンパワーによる運用実験を実施
(閑散期と繁忙期の2回実施)



実験の結果を反映し，バス・タクシー業界と協働してショットガン方式運用システムを構築



駅前広場整備工事の進捗に合わせて試験運用開始



状況を確認のうえ本運用

※京都駅南口駅前広場エリアマネジメント会議

(平成25年12月に第1回会議を開催)

整備後の南口駅前広場において，交通事業者等が主体的に乗降場等の適正な運用や管理が行えるよう，学識経験者，地元学区自治会代表，鉄道事業者，タクシー事業者代表，バス事業者代表，運送事業者代表，関連施設管理者，関係機関等（33名）で構成する京都駅南口駅前広場エリアマネジメント会議により検討を行っています。

会議には，関連する事業者と関係機関で構成する①タクシー，②路線バス，③貸切バス，④送迎，⑤荷捌きの5つの部会を設け，それぞれの乗降場所等の運用や管理方法の詳細な内容の検討を進めています。

(2) タクシーショットガン方式の運用実験について

現状、京都駅南口ではタクシー待機場に進入待ちをするタクシーが路上に溢れ出し、八条通の1車線を塞いでしまう状況が見られます。

このような状況を改善するため、駅乗り場から離れた場所に待機場所（待機プール）を設け、駅前のタクシー待機場（駅前プール：現況58台、完成時51台）の空き状況に応じて、そこからタクシーを送り出すショットガン方式を導入します。

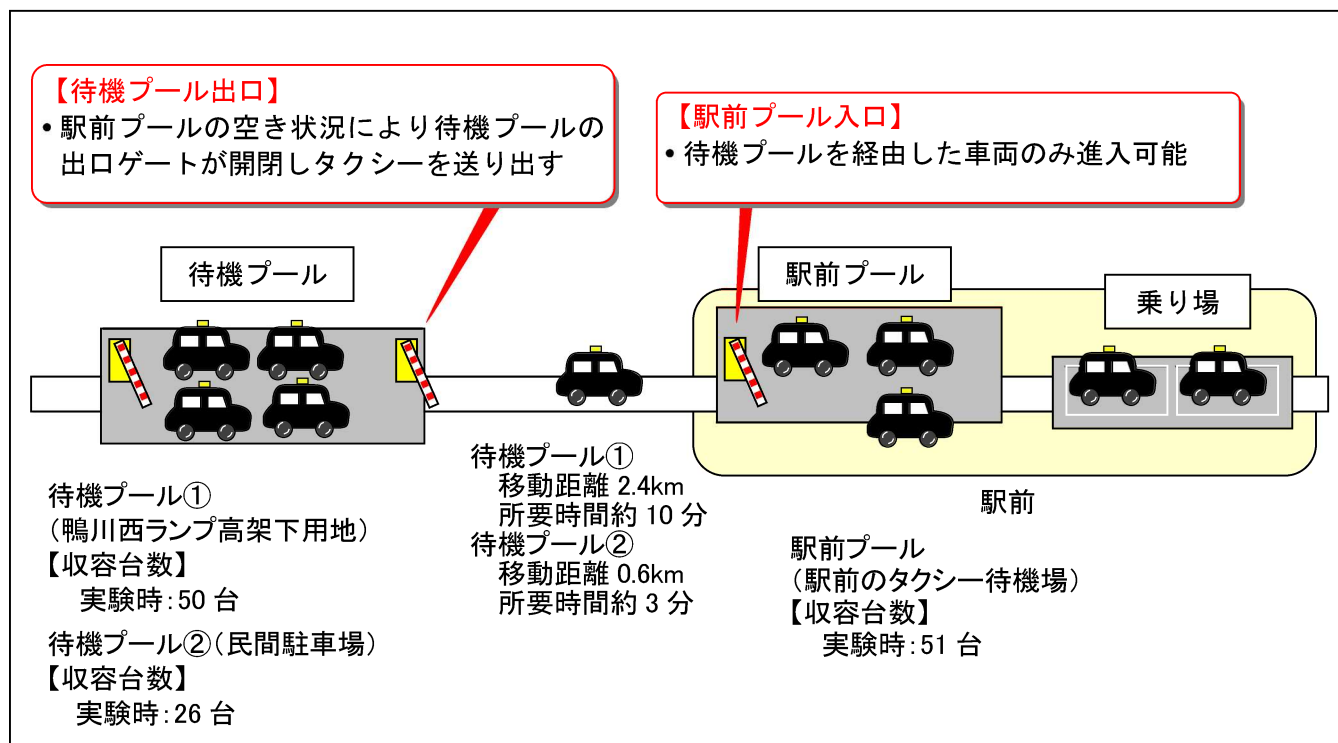
実験は、遠い場所と近い場所の2箇所の待機プールにより、実施日を分けて行います。

- | |
|--------------------------------|
| 遠い場所の待機プール：鴨川西ランプ高架下用地 収容台数50台 |
| 近い場所の待機プール：付近の民間駐車場 収容台数26台 |

八条通に待機するタクシー



タクシーショットガン方式実験イメージ図



○実験日時（閑散期の実験）

- ・鴨川西ランプ高架下用地を待機プールとして利用した実験

平成26年8月24日（日），8月25日（月）

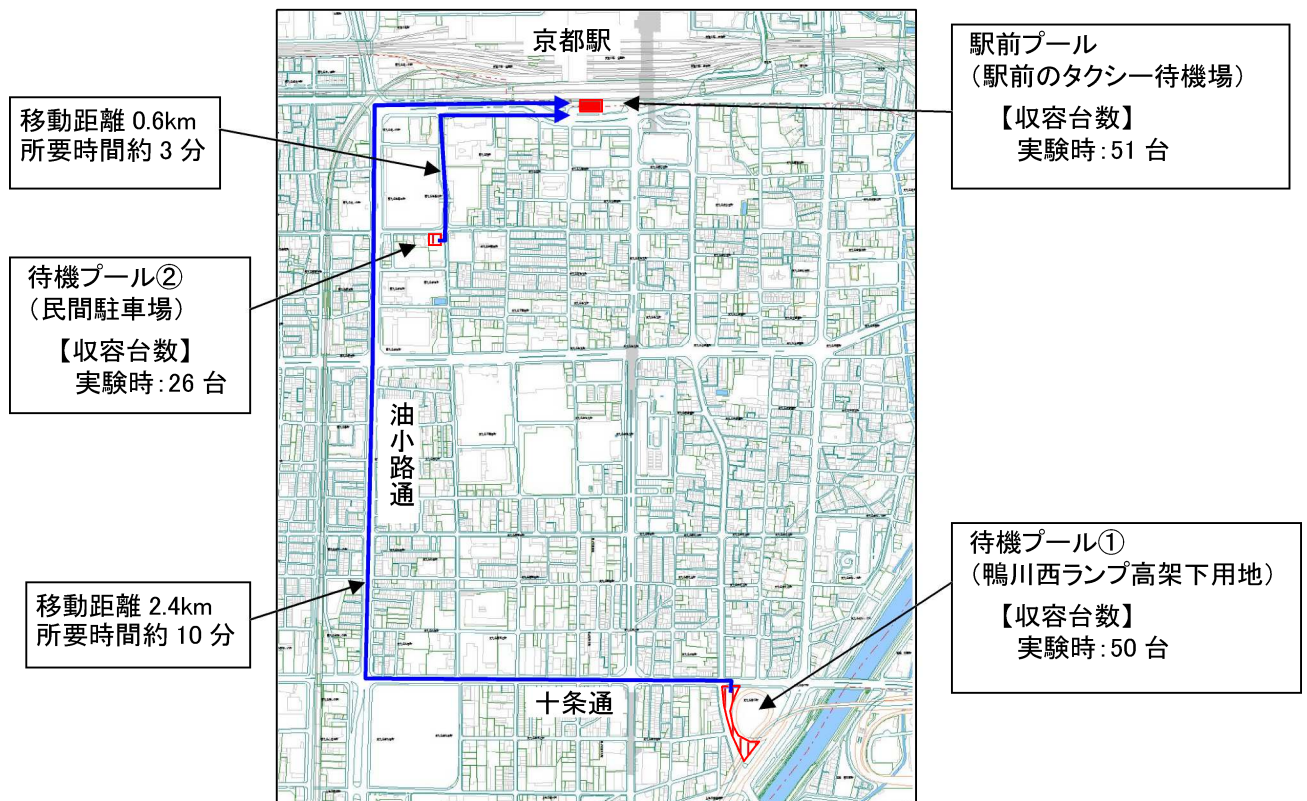
午前9時～午後4時

- ・イオンモール kyoto 南側の民間駐車場を待機プールとして利用した実験

平成26年8月26日（火）

午前9時～午後4時

実験場所及び移動経路



○実験の概要

- ①実験開始後，客待ちのタクシーは，待機プールで待機する。

（待機プールを経由しないタクシーは，駅前プールに入れない。）

- ②駅前プールが12台分空いたら，待機プールから12台を送り出す。

※実験中は，到着・出発時間等を駅前プール，待機プールにおいて記録し，円滑に運用を行うことができるか，プールの容量，駅前プールと待機プールの所要時間などの課題を確認する。

(3) 観光バスショットガン方式の運用実験について

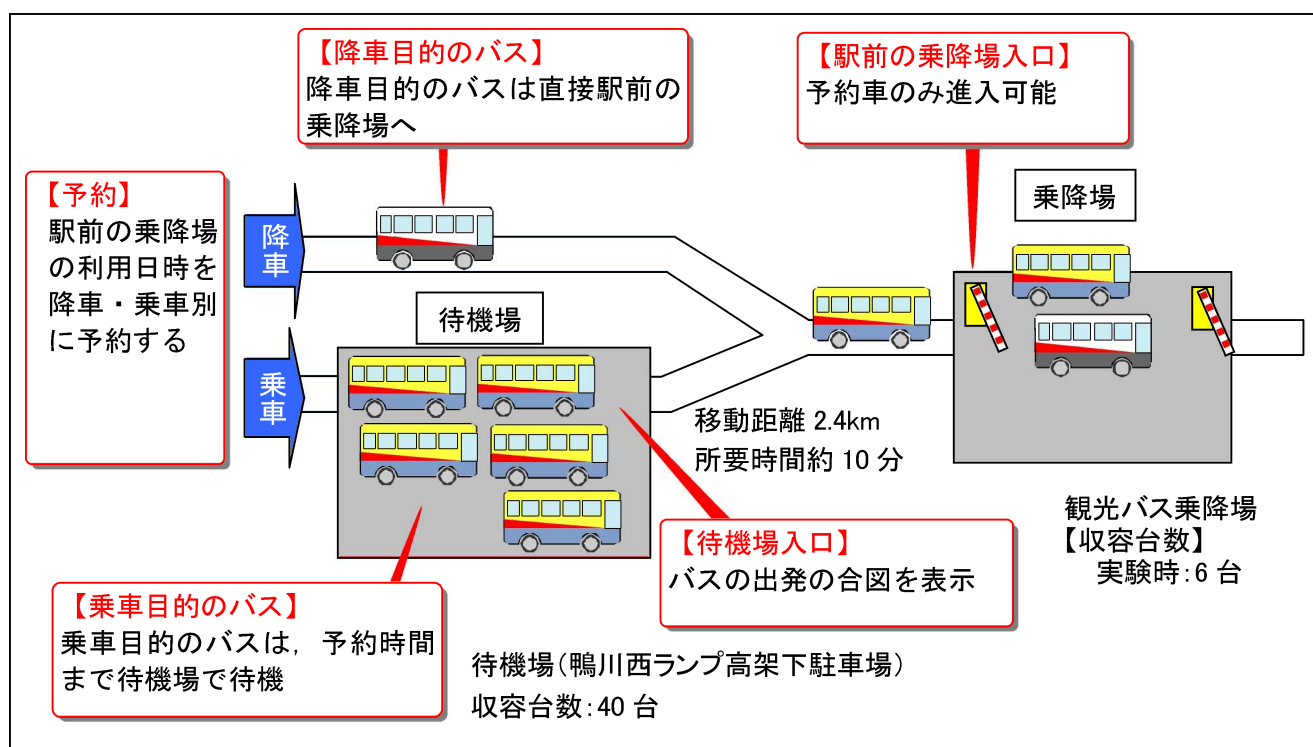
春や秋の観光シーズンには、多くの観光バスが京都駅南口で乗降を行っています。現在の観光バス乗降場は6台の容量しかないため、入り待ちするバスが路上に溢れ出し、なかには路上で乗降するバスも見られます。

このような状況を改善するため、観光バス乗降場を現在の2倍となる12台の規模に拡大するとともに、予約制の導入と併せて、鴨川西ランプ高架下駐車場(収容台数40台)を待機場として利用した、関西では初となるショットガン方式を導入します。

八条通に待機するバス



観光バスショットガン方式実験イメージ図

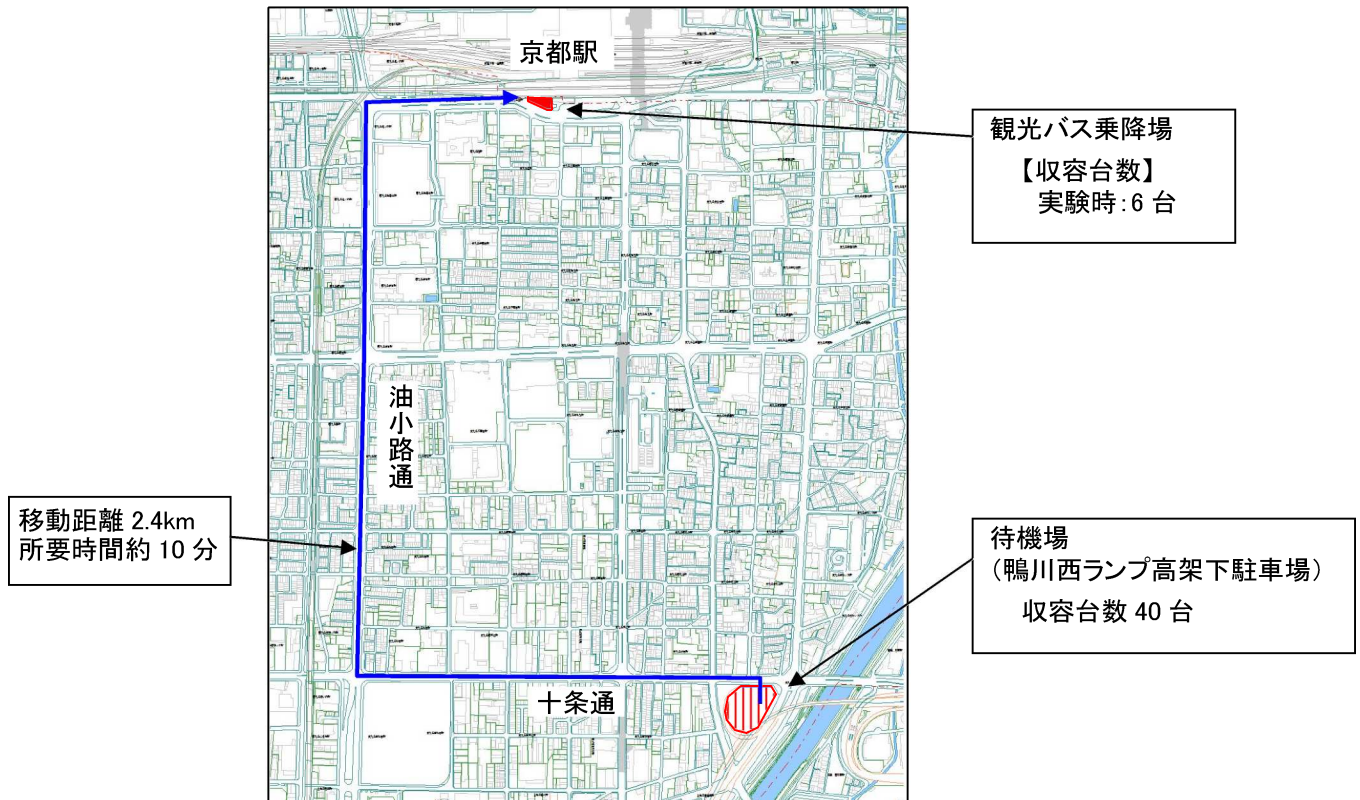


○実験日時（閑散期の実験）

平成26年9月5日（金）、9月6日（土）

午前7時～午前10時

実験場所及び移動経路



○実験の概要

- ①実験期間中の観光バス乗降場の利用は、事前申込み制とし、利用希望者から事前にFAXにより申込みを受ける。
- ②乗車目的の空車のバスは、観光バス乗降場の利用時間の20分前までに鴨川西ランプ高架下駐車場に入庫して待機し、係員の指示（約10分前）により観光バス乗降場に向かう。
- ③観光バス乗降場の利用時間は、原則20分とする。

※実験中に、到着・出発時間等を観光バス乗降場、鴨川西ランプ高架下駐車場において記録し、円滑に運用を行うことができるかなどの課題を確認する。

〈参考〉

京都駅南口駅前広場の整備概要

（１）整備計画の３つの基本方針

①「歩くまち・京都の玄関口」

使いやすく，人にやさしい交通結節点としての機能の確保

②「京都の顔」

おもてなしの心を備えた広場の形成

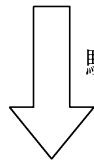
③「まちの賑わい」

活気溢れる賑わいの広場の形成

（２）整備の主な内容

○マイカー駐車場の廃止

○八条通を６車線から４車線に減少



駐車場や車道の一部を歩行者のための空間に再配分

○タクシーやバス停等の乗降場を使いやすい配置に変更

○観光バスの乗降場を２倍の規模に拡大

○南北自由通路とバス停等を円滑に行き来できる拠点広場を整備

○機械式地下駐輪場を整備

京都駅南口駅前広場整備計画(案)

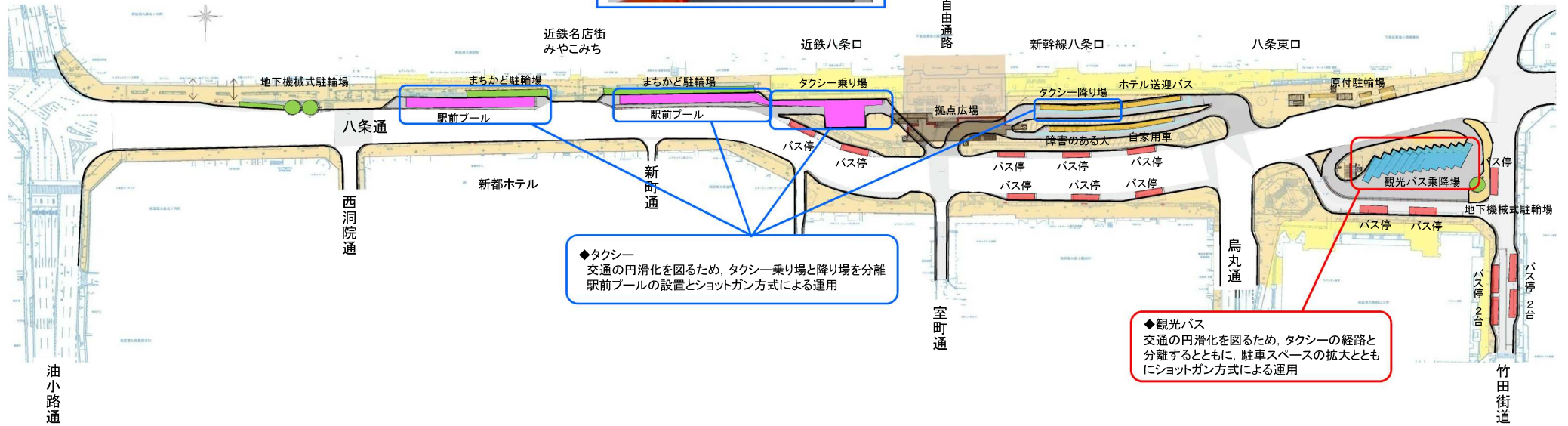
(平成24年6月公表済み資料を基に作成)

参考図

【現況】



【計画】



※計画の整備イメージに用いている図は、完成イメージ図であり必ずしも完成時と一致するものではありません。